

平成15年10月10日

関係各位

東京都新宿区四谷一丁目2番8号
 高千穂交易株式会社
 代表取締役社長 山村秀彦
 (登録銘柄コード・2676)
 問い合わせ先
 取締役
 経営システム本部長 赤堀寛人
 電話 03-3355-1189

平成16年3月期中間期及び通期業績予想(連結・単体)の修正について

平成15年5月9日付当社「平成15年3月期決算短信」で発表いたしました平成16年3月期(平成15年4月1日～平成16年3月31日)中間期及び通期の業績予想(連結・単体)を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成16年3月期の連結業績予想の修正等

(1) 中間期(平成15年4月1日～平成15年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	11,322	296	150
今回予想(B)	9,980	330	186
増減額(B-A)	1,342	34	36
増減率	11.9%	11.5%	24.0%
前期(平成15年3月期)中間実績	10,886	405	233

(2) 中間期の修正理由

売上高につきましては、デバイス事業では、機構部品事業において、ATM(現金自動預け払い機)用機構部品が「新札」特需により当初計画を上回って好調でしたが、半導体事業において、携帯電話・DVDナビゲーション向け半導体は好調に推移しましたものの、パソコン向け半導体の納入先が予定より早期に生産拠点を海外移転したことやノートパソコン向けタッチパッドが新機種への採用が見送られた影響から、当初計画より売上高が減少する見込みであります。

また、システム機器事業では、情報ネットワーク事業がネットワークセキュリティ分野で顧客開拓の遅れから計画より落ち込むほか、セキュリティ事業において、リテール向け商品監視システムが引き続きドラッグストア市場などで好調ななかで、オフィスセキュリティシステムが大型システムの納入設置に長期間要し、新規顧客開拓が遅れることから落ち込む見込みであります。そのため、売上高は当初予想より 11.9%減で 9,980 百万円の見通しであります。

利益につきましては、粗利益率が当初計画から 0.8 ポイント上回る見通しであります。また、販売費及び一般管理費の削減に努め、計画より約 9.5%減の見込みであります。

結果、経常利益は当初予想を上回る 11.5%増の 330 百万円であります。当期利益も当初予想より 24.0%増の 186 百万円の見込みであります。

(3)通期（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 利 益
前 回 予 想 (A)	24,411	1,049	573
今 回 予 想 (B)	23,221	1,041	587
増 減 額 (B - A)	1,190	8	14
増 減 率	4.9%	0.8%	2.4%
前期（平成 15 年 3 月期）通期実績	21,391	753	366

(4)通期の修正理由

売上高につきましては、中間期の影響が残るものの、デバイス事業においては、機構部品事業は「新札」特需が牽引して好調に推移し、半導体事業は、携帯電話及びカーナビゲーション向け納入の増産傾向が続き好調な推移が見込まれ、パソコン用タッチパッドも新機種へデザインされるほか、上期に受注しました液晶向けカスタム IC が本格的に売上に寄与する見込みで、上期の落ち込みをやや挽回できる見通しであります。

システム機器事業では、セキュリティ事業において、オフィスセキュリティシステムの不調が見込まれるものの、リテールセキュリティは当初計画通りの見通しであります。そして、メーリング事業もほぼ当初計画通りの見通しですが、情報ネットワーク事業は今期ネットワークセキュリティ関連商品のラインナップが実現し、顧客開拓が進展するものの、上期の挽回までには至らない見通しであります。

結果、通期の売上見通しは、当初予想より 4.9%減で 23,221 百万円の見通しであります。

利益につきましては、システム機器事業で粗利益率が当初計画から 2.8 ポイントの改善が見込まれるものの、デバイス事業で 1.2 ポイント下がる見込みから、通期では 0.4 ポイント下がる見通しであります。また、販売費及び一般管理費は下期も効率使用と節減に努め、通期では当初計画より 7%弱の削減ができる見込みであります。

結果、利益はほぼ当初予想通りの見通しで、経常利益は当初予想より 0.8%減で 1,041 百万円の見通しであります。当期利益は当初予想より 2.4%増で 587 百万円の見通しであります。

2. 平成16年3月期の単体業績予想の修正等

(1) 中間期(平成15年4月1日～平成15年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	10,099	278	153
今回予想(B)	8,920	305	167
増減額(B-A)	1,179	27	14
増減率	11.7%	9.7%	9.2%
前期(平成15年3月期)中間実績	10,553	377	394

(2) 通期(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	21,843	970	550
今回予想(B)	20,771	952	513
増減額(B-A)	1,072	18	37
増減率	4.9%	1.8%	6.8%
前期(平成15年3月期)通期実績	19,945	781	542

(3) 単体修正理由

連結修正理由と同様であります。

当社は、今後とも積極的に市場及び顧客開拓などの増収施策を進めてまいるとともに、利益向上に努めてまいり所存であります。

以上